令和７年度　学校関係者評価委員会
会議議事録

令和８年３月４日（木）17:00～19:00
専門学校 カレッジオブキャリア　203 教室

I.　会議の開催概要

学校自らが行う自己評価の結果を評価することを基本として行う学校関係者評価の実施及び公表を行い、その評価結果を踏まえた教育活動、その他の学校運営の改善に活用する。

I.　出席者

赤池　健　　：長野市ホテル・旅館組合　代表
山本　彰彦　：シャトレーゼホテル長野　総支配人
福士　佳幸　：税理士法人アルゴ　部長　（当学園卒業生）
中村　学　　：エヌ・エス・ケイ株式会社　部長
熊谷　麻里子：フリーウェディングプランナー　当校非常勤講師
宮島　英輔　：専門学校 カレッジオブキャリア　校長
松本　拓実　：専門学校 カレッジオブキャリア
　　デジタルクリエーション科／ブライダル・ホテル科学　学科長
増田　明仁　：専門学校 カレッジオブキャリア　同学科　副科長
島崎　公栄　：専門学校 カレッジオブキャリア　同学科主任
山田　大輔　：専門学校 カレッジオブキャリア　入学課
築田　浩佑　：専門学校 カレッジオブキャリア　同学科　教員（議事録作成者）

II. 議事の承認

赤池　健　　：長野市ホテル・旅館組合　代表
山本　彰彦　：シャトレーゼホテル長野　総支配人
福士　佳幸　：税理士法人アルゴ　部長　（当学園卒業生）
中村　学　　：エヌ・エス・ケイ株式会社　部長
熊谷　麻里子：フリーウェディングプランナー　当校非常勤講師
宮島　英輔　：専門学校 カレッジオブキャリア　校長
松本　拓実　：専門学校 カレッジオブキャリア
　　デジタルクリエーション科／ブライダル・ホテル科学　科長
増田　明仁　：専門学校 カレッジオブキャリア　同学科　副科長
島崎　公栄　：専門学校 カレッジオブキャリア　同学科　主任
山田　大輔　：専門学校 カレッジオブキャリア　入学課
築田　浩佑　：専門学校 カレッジオブキャリア　同学科教員（議事録作成者）

II. 自己評価について

a)　学校の教育目標について

・「職業に必要な知識・技術を身に着け、それを資格・免許として示し、人間的に魅力あふれた職場で活躍できる職業人を育成する」ことを目標に、専門知識・技術や資格取得はもちろん、業界で必要な人間性の育成や個人の個性に合わせた指導を細やかに行っている。また、新しい時代に合わせて目的を再確認して育成を行うことを課題としている。

b)　教育理念・目的・人材育成について

・ 各教員の自己満足とならないよう、その時のニーズに合わせ具体的に今の課題・目的を把握していくことが必要である。
・ 保護者や学生が学校に求めるものは何なのかを理解し、社会情勢に合わせて変革を行っていくことが必要である。
・ 職員個々の理解が深まる一方、改善点も増えている。
・ 社会の変化に伴い、対応が遅れがちな部分もある。そのため、具体的な目標設定の必要性を改めて認識している。

c)　学校運営について

・ 理事会・本部会議で組織規則について明確に行っている。
・ 人事考課を行って人事給与を決定するとともに、財務もシステムが整備されている。
・ コンプライアンス体制は注意して活動しており、またホームページ等で適切に情報公開を行っている。
・ 少人数の職員のため、対応が後回しになりがちである。時代に合わせ改善が必要である。
・ 情報システム化の業務効率化はまだ課題が残る。新技術の積極的導入が必要である。

d)　教育活動について

・ シラバスによって、理念に沿った教育過程の編成、実施方針等の策定は行われている。
・ ここ数年でカリキュラムを大幅に変更している。学生が楽しい、社会で求められているものは何かを見直し取り組んでいる。魅力的なものに変更をして独自の授業を作っていきたい。
・ キャリア教育に関しては、より実践的な授業を構築する必要があるため、充実したカリキュラムを作成していきたい。
・ 教員の確保については、非常勤講師の協力により、専門性の高い授業を提供できているが、常勤講師のスキル向上にも努める必要がある。
・ 関連団体との連携に関しても、見直しを図っていきたい。

e)　学修成果について

・ 就職率の向上については、ブライダル分野は好調だが、情報系の分野では図られていない。情報系はより具体的な就職活動支援策が必要である。
・ 資格取得率については、概ね良好である。安定した成果を出せるように継続が必要である。
・ 退学率の低減については、今年度は退学者が少なく良い結果となった。しかし、少人数でも退学者が出ると評価が厳しくなるため、低減を図るための活動は実施しており、継続が必要である。
・ 卒業生の活躍状況については、一部の職員に情報が偏っているため、より体系的に情報共有ができる仕組みが必要であると考える。
・ 卒業生にも学校に来てもらい、話や授業をしてもらうことも考えている。

f)　学生支援について

・ 現在の支援体制についてはきめ細かく対応し、フォローアップをしている。登校の一番の長所である部分である。
・ 進路・就職に関する支援体制の整備は、担任の個別フォローもあり評価が高い。
・ 少人数で対応となり自己判断で行う場合に個人差があり体系的になっていない部分があるため、程度のルール化は必要となっている。
・ 学生の相談機会の提供については、学生がより利用しやすい環境を整える必要がある。

g)　教育環境について

・ 施設設備については、施設内の老朽化などがあるため修繕を実施している。
・ インターンシップについては学校でできる範囲での実施となっている。まだ十分な実績がないため、今後の課題として取り組む。
・ 防災設備等は避難訓練や消防点検を受けているおり、適切に実施している。

h)　学生受け入れ募集について

・ 全体としては好調に確保できているが、今年の募集は情報系の学生募集が厳しい状況であるため、見直しを行うことが必要である。
・ 情報の発信は正確な発信を心がけ、誤解を招かないようにしていく必要がある。

i)　財務について

・ 学校運営の基盤は安定しており、監査も適切に受けている。
・ 納付金は比較的低めに設定されているが、今後の状況に応じ調整が必要かもしれない。

j)　法令等の遵守について

・ 法令等は厳しく守るようにし、正直に行うように取り組んでいる。

k)　社会貢献・地域貢献について

・ 業界を通じた貢献活動を継続し、関連企業との連携を深めていけるようにしていきたい。

III.　企業、業界団体から

a)　赤池委員

・ 面倒見が良いというところですが、具体的に心掛けていることは何かあるのか。
  - 卒業まで責任を持って育成することを基本としている。知識・技術を身につけさせ、社会で自立できる力を養うことを目標としている。
  - 普段から細かいところまで目を配り、卒業後にも活かせるように学生に対して指導をしている。

・ 教育水準の問題はあるのか。様々な生徒に対し、どのレベルに合わせるかなどの方針はあるのか。
  - デジタルクリエーション科は少人数制の良いところもあるが、ベースとなるスキルやレベルは授業で一貫して実施している。高低の差がかなり大きいが放課後の補講などでもフォローをしてベースラインに近づけ、レベルの高い子はより高度な学習ができるような体制を整えている。

・ レベルの差により単位数は変わってくるということはあるのか。
  - 変えることはできないので、一人一人に応じて学習のレベルを変えるように対応しようと思っている。

・ 高いレベルを求める学生もいると思うので、同じ授業内容の中でも選択性が増えるとよいのではないかと思う。

b)　山本委員

・ 授業の良し悪しは比較できないのはその通りだと思うので、卒業後 3 年程度の卒業生に対してアンケートを実施し反映させていくのはいいのではないか。現場の声を聞いて反映させていくのは大事だと思う。

・ インターンシップの時期は進路決定前が効果的だと思われる。実際の現場をみてミスマッチも防ぐこともできる。

c)　熊谷先生

・ 入学を決めた理由に関して、ブライダル業界に夢を持って入学してくれる方も多いと思うが、ブライダル業界に行かない学生も多い。その中でもどう気持ちが変わったかを知りたいので、アンケートに取り入れてほしい。

d)　福士委員

・ 専門学校に来て卒業をした後もコミュニケーションを取っていくことも必要だと思う。
・ 卒業生で独立している方に講話などの授業を取り入れてはどうか。

e)　中村委員

・ 居眠り等の感想もあったが、居眠りなどに対しても指導をしていくことも必要だと思う。社会人としての厳しい意見かもしれないが、居眠りは信頼を失う原因となることを話すことも大事なことである。ただし、厳しさと突き放すことは違うので、面倒を見てあげることも必要だと思う。
・ 取りたかった取得とはどんなものか。
  ➢ ブライダル科であればホテル検定、ブライダルコーディネート検定、デジタルクリエーション科は IT パスポート、基本情報技術者試験のことと思われる。
・ 資格試験も高度なものもあるが、学生のレベルに合わせて取れる人は押してもらえるとよいし、社会人になったら取るといいよという話もしてよいと思われる。

IV. 卒業生アンケートについて

・ 入学理由の上位は「オープンキャンパス参加」「高校教員からの紹介」である。体験実習を含めたオープンキャンパスが一定の評価を得ていると思われる。高校からの紹介が多いのは、地域密着型校として認知いただいている結果だと捉えている。
・ ブライダル関連の授業の充実、英語や実務的知識を学びたいとの意見、高度な資格取得支援を望む声もあったが、個人差が大きいため、今後の課題としたい。
・ 施設・設備などでは、満足が過半数であるが、教室移動の負担については毎年意見が聞かれる。（4 階のため、階段の移動が負担との声もある）
・ メンタルケアや相談の機会が少ないという意見も多かったため、環境を整える必要もある。
→外部での相談機関が欲しいとのことで話は聞いている。
・ 教員に対する評価は最後まで丁寧に指導した点が評価されている。就職支援についても評価が高い。
・ 毎年良好な評価はいただくが、分析し改善に活かすことは必要。特に入学動機の深堀は課題である。

V. 次回開催について

令和９年３月：令和８年度　学校関係者評価委員会

令和７年度自己評価報告書　　学校関係者評価委員A

＜学校の教育目標＞

職業に必要な知識・技術を身に付け、それを資格・免許として示し、人間的な魅力にあふれた、職場で活躍できる職業人を育成する。

＜今年度の重要課題＞

＜評価項目の達成及び取組状況＞　評価基準は４（適切）３（ほぼ適切）２（やや不適切）１（不適切）

【教育理念・目的・人材育成像】	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	3
・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

課題

改善方策

特記事項

【学校運営】	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

課題

改善方策

特記事項

【教育活動】	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4

・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【学修成果】	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	4
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【学生支援】	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【教育環境】	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【学生の受入れ募集】	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
・学生納付金は妥当なものとなっているか 等	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【財 務】	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【法令等の遵守】	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【社会貢献・地域貢献】	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

課題	
改善方策	
特記事項	

令和７年度自己評価報告書　　**学校関係者評価委員B**

＜学校の教育目標＞

職業に必要な知識・技術を身に付け、それを資格・免許として示し、人間的な魅力にあふれた、職場で活躍できる職業人を育成する。

＜今年度の重要課題＞

＜評価項目の達成及び取組状況＞　評価基準は４（適切）３（ほぼ適切）２（やや不適切）１（不適切）

【教育理念・目的・人材育成像】	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	4
・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

課題

改善方策

特記事項

【学校運営】	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

課題

改善方策

特記事項

【教育活動】	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4

・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【学修成果】	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	4
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
課題	
改善方策	
特記事項	

【学生支援】	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【教育環境】	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【学生の受入れ募集】	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
・学生納付金は妥当なものとなっているか 等	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【財 務】	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【法令等の遵守】	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【社会貢献・地域貢献】	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

令和７年度自己評価報告書　　学校関係者評価委員C

＜学校の教育目標＞

職業に必要な知識・技術を身に付け、それを資格・免許として示し、人間的な魅力にあふれた、職場で活躍できる職業人を育成する。

＜今年度の重要課題＞

＜評価項目の達成及び取組状況＞　評価基準は４（適切）３（ほぼ適切）２（やや不適切）１（不適切）

【教育理念・目的・人材育成像】	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	4
・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【学校運営】	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【教育活動】	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	

・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3
課題	
改善方策	
特記事項	

【学修成果】	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	4
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【学生支援】	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	3
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	3
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	
課題	
改善方策	
特記事項	

【教育環境】	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【学生の受入れ募集】	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	3
・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3
・学生納付金は妥当なものとなっているか 等	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【財 務】	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【法令等の遵守】	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【社会貢献・地域貢献】	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

課題	
改善方策	
特記事項	

令和７年度自己評価報告書　　学校関係者評価委員D

＜学校の教育目標＞

職業に必要な知識・技術を身に付け、それを資格・免許として示し、人間的な魅力にあふれた、職場で活躍できる職業人を育成する。

＜今年度の重要課題＞

＜評価項目の達成及び取組状況＞　評価基準は４（適切）３（ほぼ適切）２（やや不適切）１（不適切）

【教育理念・目的・人材育成像】	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	3
・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【学校運営】	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【教育活動】	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4

・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3
課題	
改善方策	
特記事項	

【学修成果】	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	4
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【学生支援】	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【教育環境】	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【学生の受入れ募集】	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
・学生納付金は妥当なものとなっているか 等	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【財 務】	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【法令等の遵守】	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

課題	
改善方策	
特記事項	

【社会貢献・地域貢献】	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

課題	
改善方策	
特記事項	

令和７年度自己評価報告書　　**学校関係者評価委員**

＜学校の教育目標＞

職業に必要な知識・技術を身に付け、それを資格・免許として示し、人間的な魅力にあふれた、職場で活躍できる職業人を育成する。

＜今年度の重要課題＞

＜評価項目の達成及び取組状況＞　評価基準は４（適切）３（ほぼ適切）２（やや不適切）１（不適切）

【教育理念・目的・人材育成像】	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	4
・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【学校運営】	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
課題	
改善方策	
特記事項	

【教育活動】	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4

・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3
課題	
改善方策	
特記事項	

【学修成果】	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	4
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【学生支援】	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
課題	
改善方策	
特記事項	

【教育環境】	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

課題
改善方策
特記事項

【学生の受入れ募集】	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
・学生納付金は妥当なものとなっているか 等	4

課題
改善方策
特記事項

【財 務】	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

課題
改善方策
特記事項

【法令等の遵守】	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

課題
改善方策
特記事項

【社会貢献・地域貢献】	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

課題
改善方策
特記事項